

第4回 三木市バス交通活性化協議会議事録（抜粋）

（平成27年1月26日（月））

（開会挨拶）

会長 皆さん、お集まりいただきましてどうもありがとうございます。
第4回の協議会を開催させていただきます。

（会長退任挨拶）

会長 今日は、最初ではあるんですが、ちょっと残念な話をさせていただきます。
いただきたいと思います。

（退任理由の説明）

会長 これをもって、この協議会の委員を辞任させていただきます。
どうも長い間ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

（副会長退任理由の説明）

（会長、副会長退席の後、一旦休憩）

（協議会再開）

副市長 それでは協議会を再開させていただきたいと思います。
今、〇〇会長と〇〇副会長の方から、辞任ということがございます。これについては止むを得ないと判断いたしますけれども、規約上では本来、会長に何かあるときには副会長がということになっておりますが、両方ともが退任ということになりますと、規約の中にございませぬので、今回に限っては、私が進めさせていただくことを、委員会の皆様方に御了解をお願いしたいと思いますが、進めさせていただいてよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

副市長 ありがとうございます。
会長、副会長については、互選となっておりますので、次回の協議会の中で決めていただくように、事務局としても調整を

進めて行きたいと思えます。

今の〇〇会長、〇〇副会長が申しました内容について、何かご意見ございますでしょうか。

(発言なし)

副市長

事務局としましては、〇〇も言いましたように、精一杯の調整はしてきたつもりでございます。ただ、〇〇教授のお考え、それから市としての考え方、基本的にはどちらも市民の皆様のためにということで考えた案が、基本的に〇〇教授のお考えと我々の事務局の考え方とが、どうしても納得していただけなかったということで、これについては本当に残念な結果になっております。確かに〇〇も言いましたように、実はこれは内部の話で大変失礼なんですけれども、〇〇教授のお話が我々の方に伝わっていなかったということもございまして、その判断の中で齟齬が生じたということも事実でございます。ですから、〇〇教授の基本的な考え方と、市長の基本的な考え方とが全然食い違っているようにみえますけれども、実は全然食い違ってなくて、教授がおっしゃったように、パーソントリップ調査、それから意識調査の結果を案の中に反映させていくような案にしていかなければならないという当たり前のことなんです。そのことが事務局の中できっちりと情報共有ができていなかったというのが大きな理由になりまして、そのことも〇〇の方が深く責任を感じまして、自分の中で、自分として自分が許せないということで退任をしたということでございますので、お許しをいただきたいと思えます。本当に御迷惑をかけて申し訳ございません。

それでは、もし御意見がなければ、本日の会議を次第に従って進めたいと思えます。

(事務局から資料「第3回 バス交通活性化協議会議事録(抜粋)」説明)

副市長

前回に警察さんの方に御無理を言ってしまった内容(市内の運転免許保有状況)なんですけど、これは今、高齢者の率が大変上がってきております。その中でも、高齢者になってきますと、

運転免許証を返納しようという方が増えてこようかと思いません。やはりそういうデータがバス交通を見直していく中で大変重要な資料になってくるということもございまして、会長からそのような御依頼があったのでございます。これについて、簡単に資料の説明をしていただきたいと思います。よろしく願い申し上げます。

(三木警察署交通課〇〇警部補から資料「みきの交通事故概要」説明)

- 1 交通事故発生状況（市内での死亡事例等を含む）
- 2 高齢者による事故の状況
- 3 運転免許保有状況（申請取消件数を含む）

副市長

ありがとうございます。

質問の方がもしありましたら、次の協議事項のパーソントリップ調査の報告書を簡単に説明させていただいて、一括していただきたいと思います。

続けて、時間も押しておりますので、パーソントリップ調査の報告書について、事務局の方から説明したいと思います。

(事務局から資料「三木市バス交通計画調査中間報告書」説明)

副市長

ありがとうございました。

これはあくまでもサラッと説明しました。これはまだ概要を集計した段階で、これをまだクロス分析といいまして、例えば年齢とか地域とかそういったものを連携した分析をした結果を今作業中でございます。その結果を基に、計画に反映していく必要があるかと思えます。あくまでもこれは、表紙に書いてますように「中間報告」ということで御理解をお願いしたいと思います。

あまり時間はないんですが、この中で、これはちょっと聞きたいというようなところがございましたら、警察さんの御説明も含めて、質問があればお聞きしたいと思います。

〇〇先生もおっしゃったように、本来はパーソントリップ調査、それから意識調査、このデータを基にしてこれを反映するような格好でバス交通網の改革案をつくっていく必要がござ

います。ですから、貴重なデータが出てきておりますので、これを、クロス分析をかけて反映していく格好になろうかと思えます。なかなかこれだけ単純集計なので、これで意見を求めるのは大変難しいかもしれませんが、何か質問で結構ですけどございせんか。

(発言なし)

副市長 ないようですので、これを基に今後分析を進めてバス交通網の計画に反映できるように事務局としてがんばってこの協議会に提示したいと思えます。

本日はこの調査の結果を基に計画に反映するというのもございまして、中間報告の報告がメインでございました。

その他として、事務局として特に今ないんですけれども、何か委員さんの中から御質問等ございましたら、何でも結構でございまして、御発言をお願いしたいと思えます。

委員 会長、副会長さんの準備というのは、次回までに整うんですか。

副市長 その件については、突然の話でしたので、びっくりしておりますので、次回までに事務局に時間をいただきたいと思えます。その間に必ず選任ができるように整えますので、次回までお時間を頂戴したいと思えます。これは事務局一任でお願いできたらと思えます。

委員 ○○先生の辞任の理由について長い詳しい理由をいただきましたけれど、その中で、先生は自分の思うようにしたいという意識がちょっと強かったんじゃないかと。やっぱり協議会の会長としては、それぞれ事務局案や我々委員の意見も聞きながら調整をしていただくと、こういうふうにしていただいた方が我々としてはありがたいのではないかとと思えますので、会長、副会長を選任される時には、共調性があるといえますか、我々の意見も参考にして進めてもらうような会長、副会長を選任していただきたいと思えますので、一つお願いしたいと思えます。

副市長

ありがとうございます。

〇〇委員さんから御指摘されましたように、ちょっと私もみておりました中で、〇〇先生の発言が多かったのかなというふうにも思いますので、今後このようなデータを皆様にお示しをし、その中で御意見を頂戴できるような進め方をできるように会長、副会長の選任についても事務局としてがんばってまいりたいと思います。ただ、我々としては後どのようにして進めて行くのかということなんですけれども、これについてちょっとだけ時間をいただいて、御説明をさせていただいてもよろしいでしょうか。やはり委員さんのほうも、会長、副会長が突然辞任ということで御心配になって、この協議会がどうなっていくんだろうと、本当にまとまっていくのかなということも御心配だと思いますので、今、事務局で考えております計画のスケジュールについて、事務局の方から簡単に説明をさせていただければと思います。

事務局

失礼いたします。

今後のスケジュールですが、あくまでも事務局案として口頭とホワイトボードの方で記入させていただきながら御説明させていただきたいと思います。

第3回の協議会でお示ししたスケジュールであれば、2月に協議会として見直しの案を策定しまして、それを3月から市民の皆様との意見交換会を行う予定でしたけれども、本日こういった事態となりましたので、最終的には4月中を目途に協議会としての案を固めたい。それについては、2月、3月、4月と第5回、第6回、第7回と協議会を開催させていただきながら、4月に協議会としての見直し案を固めたいと思います。

それを受けまして、5月の中旬から8月の中旬頃、この3か月間期間をいただきまして、住民の皆様との意見交換会をさせていただきまして、8月の下旬には意見交換会の意見を反映した案を確定させまして、地域公共交通会議にかけられればと思っています。

当初、意見交換会の後、それらの意見を受けて修正した案について決定して、住民の皆様への説明会というものを予定しておりましたが、この説明会に代えまして、9月1日の広報みきの別冊としてバス交通網の見直し計画というものを住民の皆様

様に全戸配布させていただきたいと考えています。

事業者様との調整は当然必要ですが、10月1日に見直し運行のスタートというのは堅持をしたいと考えています。

あくまでも事務局の試案ということなのですが、このスケジュールにつきましては、皆様のお手元にペーパーの方で、お配りを郵送なりでさせていただきたいと思います。

副市長

この計画を、事務局の方が端折ってしまいましたので、説明しておかないといけないんですけれども。

2月中の第5回の協議会、次の協議会ですね。それまでに、今、各路線、路線バスもみつきバスも直通バスも含めて、それぞれの路線の人数とか分析をしています。その分析結果を皆さんにお示しをして、その結果で第5回の協議をしていただこうかなというふうに思っています。今までみたいに何も資料を出さないでというようにできませんので、第5回目には各路線の分析結果をお出しして、その結果をお話ししていただく。

第6回については、今ここにお示ししましたパーソントリップ調査及び意識調査、これのクロス分析が出来上がってまいりますので、その分析結果を基にして各路線の分とも合わせた内容に案をつくって御提示をしたいと。それで、できることでしたら、第6回の時に、第7回の成案に近いものをつくり上げますので、その段階で皆さんに議論をいただいて、1か月間かけてじっくりと読み込んでいただいて、第7回の時に成案としてまとめていただければというふうに今考えているところでございます。

その中身としては、やはりいっぺんにゴソッと全てのバス交通網を変えてしまうというのは、なかなか最終形というのは難しいと思います。ですから、バスの計画については、長期、中期、短期というふうに考えながら、とりあえずこの10月1日の改正は短期の改正、その時に、今、先生は大変150円均一については怒られましたけれども、我々としては、その方法を駆使することによって、その第1回目の改正によって皆さんの乗っている、ニコパカードとかいろいろな方法があるんですけど、それを導入することによって、皆さんの乗車のきっちりしたデータが手に入ります。そのデータを分析して次のステップの改正に持っていきたいというふうに考えておりまして、とり

あえずこの今年の10月1日の改正は短期。それから後、皆さんと協議をする中で、中期、長期。長期はやはり5年先か4年先か、そのくらいの最終的にこういう形のバス交通網が完成すれば良いなというふうに持っていきたいと思っております。

それから、今日こんな急なお話があったものですから、〇〇会長さん、区長協議会さんの方には、日程調整を前にお願いしたやつが、これで変更になってしまうような結果になってしまいます。これは、次の区長協議会の方で私の方からも事情を説明をして謝って訂正をしていただきたいと思いますので、〇〇会長許してください。こんな形になるとは思いませんでしたので。本当にお許しをお願いしたいというのが2つ目です。

それから3点目としては、神姫さんの方に、やはり前の日程から後ろにちょっとずれ込んでいきますので、改正をしていくのに大変事業者としてタイトな日程になってくるというふうに思います。これについては、ゾーンさんは〇〇社長お見えになっていませんけれども、また、〇〇課長、タイトな日程になりますけれども、三木市のために協議をさせていただきたい。

そのような形で進めていきたいというふうに思います。何かこの内容、全体のこと結構ですから、何でも結構ですから何か御意見ございませんか。

委員

加東土木事務所で企画調整を担当しています〇〇と申します。今回この会に初めて参加させていただいて、私もこういうことになるとは思っていませんので驚いております。

私の方でも事務局のようなものをさせてもらってまして、事務局の御苦労というのは非常によく分かります。

そういうことも含めまして2点お尋ねしたいのが、今、〇〇先生がお辞めになりまして、会長、副会長を今回委員の中から互選するというお話でございますか。

1点目は、〇〇先生は学識という立場でお入りになっているんだらうなということで、先生がお辞めになられるということは、学識委員がいなくなる。ということで考えますと、〇〇先生の代わりに新しい学識の委員の方を今後お探しされる予定なのかということが1点。

もう1点は、副会長の〇〇さんも責任を取ってお辞めになられたようなんですけれども、こういう委員の構成からしまして

もですね、〇〇副会長さんの御留任というものはなされないのでしょうか。その2点をお伺いしたいと思います。

副市長

ありがとうございます。

私の方からお答えさせていただきます。

会長、副会長の選任については、今おっしゃったように学識経験等々の分担がございます。これについては、委員の中でもダブった形で選任させていただいている方がおられますので、それは事務局で一度検討させていただきたいというふうに思います。やはり、学識経験者の方に途中からというのは、なかなか実際の現実の話では難しいというふうに思います。

後、〇〇の件なんですけれども、これは私としては、やはり庁内の組織も体制が動いて行く中で、どこが本当に交通の関係を持つのが良いのかということも含めまして検討していきたいと思っております。正直なところ、今ここにおります〇〇部長を副会長に、私としてはお願いをすればなと思っておりますが、基本的には会長が選ぶということになっておりますので、それについては会長が決まってからということをお願いをしたいというふうに思っています。

委員

この間の連合の理事会の時に、バスの意見交換会が3月から5月の間にやりましょうというのがありましたね。それはこの中の、3月の中旬なら2月の協議会で決まったこと以降のことですね。

副市長

今ごめんなさいと言ったのが、その3月から5月というのが5月から8月にずれ込んでしまうんです。ですから、今お願いしているのが全部キャンセルになってしまって5月から8月に後ろにずらしてくださいということを次回の区長協議会で謝ります。私も今日こんな話になるとは思いませんでしたので、それはもう平に僕も謝りますので。3月、4月は無理なので、今お願いしてますのをキャンセルさせていただいて、5月から、5、6、7、8の間、5月の中旬からですから実質3か月、この間に区長会、老人会の意見交換会を一緒にされるか別々かというのは別にしましても、させていただければというふうに思いますので、また改めて日程調整を。

委員 場所の問題も、公民館を取ろうとしているから、2か月前に言うように言われているから。

副市長 私もこんなことになるとは思わなかったので、許してください。

委員 分かりました。

副市長 他に何かございませんか。

オブザーバー

スケジュール感がちょっとずれているということで、8月末までに意見交換会の意見を取りまとめてということで10月にそれを反映するという事だったと思うんですけども、ちょっとできることとできないことがあると思うので、それは段階的に次のステップにつなげられるように、御意見を十分に参考にさせていただいて、できる分についてはできる限り事業者として努力してやってまいりたいです。

副市長 同じことで、協議会としましても、できる限り意見交換会にかける成案の中で神姫さんの方の御負担がないように皆さんの力を借りてつくっていきたいと思いますけれども、やはり微調整があろうかと思imasるので、よろしくお願ひしたいと思imas。

委員 今回議論している中で一番大きな問題は、市内の均一運賃なんですよ。これを10月にめざして改正されるのか、ではなくて、その点も含めて今後検討されるのか、その辺のところを御回答いただきたいのと、もし均一運賃にするのであれば、6か月くらい前からある程度PRしないと、それからニコパカードの普及を進めていかないと多分、移行はできないと思imasるので、その辺のところもどうされるのか。

副市長 ニコパカードの件については、今の現状報告だけしておきますと、〇〇会長のお話もありましたけれども、市としましては、

今のデータの回答結果から、単純集計の中でも安価な方という希望が多うございます。市としては、10月1日に導入したいという方向は変わっておりません。今、御存じだと思いうですけれども、近畿運輸局さんの方とも、この前協議をさせていただきまして、一つの方法として、「こういう方法ではどうですか。これだったら現金であっても行けますよ。」という方法を示していただいておりますので、一度その案も含めて早急にこの協議会の中で議論させていただきたいというふうに思います。

委員　　私が聞いている中身では、ニコパカードに限るということでお話が進んでいると運輸局の方からは。

副市長　　今聞いていますのは、ここで御説明しますけれども、ニコパカードの金額の入っていないカード、「三木バスカード」みたいなものを作って、（読取機に）当ててもらおう。そのことによって、今は「現金が入っていません」という表示が出るんですけれども、それを「現金で150円お支払ください」というシステムに改修することは可能というふうに聞いております。そのことによって、近畿運輸局さんの方は今国の方が示しておりますビッグデータの収集にもなっていくということで、大変良い方向ではないのかということでございます。ひよっとすれば国の今の地域創生の補助事業にも対応できるのではないかと聞いておりますので、一応その方向で検討すればということで指導を受けておりますので、また詳しい内容については、次回の協議会の中で提案をさせていただけたらと考えております。今そんな状況なんです。これは私と〇〇部長とが一緒に行っておりますので。〇〇部長何か他に。

委員　　基本的には、ICカードを持ってもらうというのが基本スタンスです。その中で、例えば高齢者の方にとりましては、チャージとかそういう面でなかなか対応しづらいところがあるかと思っておりますので、例えばニコパカードでは残金ゼロの場合でもシステム上で履歴が残るというふうに聞いてますので、乗車のバス停と降車のバス停が最終的にデータとして蓄積されると聞いていますので、そうであるならば、タッチをしていただ

いて150円の現金を払っていただくということで、手間的には逆に現金を払っていただく方が手間なんですけれども、最終的にそういう形でやっていただく中でニコパカードの使用に慣れていただこうと。例えば、今ご利用になっていない方々にもそういう形で利用していただくように慣れていただこうという趣旨も込めまして、新たに物はニコパカードです。システムはそのまま利用させていただいた上で、例えばカード上に「三木市バスカード」というような表示をしまして配布させていただきたい、こんなふうに考えています。

副市長 そのことも含めて次回。

委員 三木市さんと近畿運輸局がお話されているというのはよくわかるんですけれども、神姫バスさんが実際に運用しますので、よく神姫バスさんを入れて御検討いただきたいと思います。

副市長 ありがとうございます。

委員 直通バスが最初できた折に、国の方の関係で途中下車ができないと言われていたんですが、もうそれは国の方から許可は下りたんですか。途中下車するというのは可能になったんですか。

委員 そこは「棲み分け」という話があったんです。いくつかバスがありますよね。神姫さんの路線バス、コミュニティバスのみっきいバス、医療センター行き、と3つの枠組みがあったんですね。その垣根を取り除くのが均一運賃なんです。均一運賃になればその垣根が取り除かれるんです。そこが一番大きな問題なんです。それがオクケーになれば途中下車ができるんですけれども、今の現状で、路線バスは路線バス、みっきいバスはみっきいバス、医療センター行きは医療センター行きという形を残すのであれば、途中下車はできません。料金形態が違うということですから。その垣根を除くというのが均一運賃なんです。

副市長 そのために全体をくっつけて一本にしたいというのとつながってくるんです。今の段階では、乗降自由というのはニコパカードがどうなろうと、現金である程度高い金額を払ってもら

うにしましても、一緒にする、垣根を取ってしまうということになれば乗降自由になりますので、市としてはその方向で進めていきたいというふうに、この辺も含めて協議会の方にきっちり案としてお示しをできたらと思います。

委員 少しでも効率よく、利用者が利用しやすいように、この会で考えていただけたらと思います。

委員 もう一点。コミュニティバスが全国で結構普及しております。ただ、コミュニティバスの話を先行して考えれば、既存のバス会社の路線というのは採算が合わなくなります。それでそのバス路線を撤退すると。バス会社は民間でございますので、撤退するような事例も増えてきています。よく考えてバス路線を残していこうというのであれば、既存のバス会社のことをよく考えていただいて、コミュニティバスをどんどん普及させていくのではなくて、全体的な三木市内の交通をどういうようにしていくかということが一番念頭に置いて今後も考えていただきたいというふうに思います。

(閉会挨拶)

副市長 ありがとうございます。

時間を押して大変申し訳ないのですが、今日は突然に最初にこのようなことがあって、委員の皆さん本当にびっくりされたと思います。正直を言って私もどうしようかと思ったんですけど、皆さんの御協力の下で無事に第4回目の協議会を終了することができて、本当にありがとうございます。

次回は2月の中旬から後半というふうに思っておりますが、また日程調整をさせていただきながら御案内をさせていただくということになるかと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。本当に突然びっくりさせまして、皆さんのおかげでこのように無事に本協議会を終了することができましたことに御礼を申し上げます。本当に御協力ありがとうございました。

(閉会)